



☆☆☆ 新しいプログラムのご紹介 ☆☆☆

《あらかると音楽あそび》

手づくり紙芝居や絵本に音をつけたり、打楽器、バルーン、リボンなどを使って、子どもたちと一緒に音楽遊びを楽しみます。

日時：毎月第1土曜日 14:30~15:30

場所：こらぼ・あーち



《健康あーち》(予約制)



子育て中の方同士、お子さまの食生活を中心に健康についてお話ししませんか。健康心理学が専門の神戸大学教員と学校勤務の管理栄養士がみなさんと一緒に考えます。

日時：第1回 6月16日(土) 11:00~12:00 (全8回)

場所：こらぼ・あーち

募集人数：育児中の方 10名(あーち受付にてお申込みください。)

※このプログラムはシリーズです。できるだけ8回通してご参加ください。



4月から新しい生活が始まって、そろそろその環境に慣れてきた方もおられると思います。また、自分は慣れてきたけれど、新しい環境に適応しようとしている家族の中の頑張り屋さんを心配している

方もいるかもしれませんね。頑張り屋さんは時に、周囲を気遣うあまり自分が頑張っている姿を見せないこともあります。そんな頑張り屋さんは、我慢と辛抱を重ねる、自分を許さない、自分に厳しい人なのだと思います。こんな風に静かに頑張っているかもしれないあなた、もしくはあなたの配偶者もそうかもしれません。子どもさんも、子ども社会で新しい体験を重ねて、実はぐったりしているかもしれません。頑張ることも大切ですが、自分も含めて周囲の人の頑張りやに気付くセンサーを立ててみてはどうでしょうか。センサーが働けば素直に感謝の意を表し、褒めてあげましょう。そうすると、悶々と頑張るのではなく、明るい気持ちで頑張れるはずですよ。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

えんじえる君 by Bon



6月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち	
1	金	めだか親子クラブ 4時～ おりがみあそび 4時～ よる・あーち 4時～8時		
2	土	あらかると音楽あそび 2時30分～3時30分		
3	日	休 館		
4	月			
5	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時～	おひさまひろばあーち（午前中）	
6	水	えいごであそぼう 11時～		
7	木		お口と歯の相談タイム 1時30分～	
8	金	みんなで歌おう 午前中 よる・あーち 4時～8時		
9	土	0歳児のパパママセミナー&中・高校生の 赤ちゃんふれあい体験（予約制）午前中 てつがくカフェ 1時45分～3時45分		
10	日	休 館		
11	月			
12	火			
13	水	家族教室 10時40分～（ゆーす・あーち） ほのぼの音ランド 11時45分～		
14	木	親子のびのび体操 11時～12時 筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（はいはい）11時～	
15	金	リフレッシュYOGA 10時45分～ あーち通信編集会議 3時～3時30分 アートセラピー 4時～ よる・あーち 4時～8時		
16	土	健康あーち 10時30分～12時（予約制） ぼっとらっく（予約制）午後		
17	日	休 館		
18	月			
19	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時～	おひさまひろばあーち（午前中）	
20	水	パパママほっと 10時30分～12時（ゆーす・あーち）		
21	木	あーち♥ピギナース交流会（予約制） （6か月未満のお子さん）1時30分～3時	ベビーマッサージ（ねんね）11時～	
22	金	みんなで歌おう 午前中 らくがきおばさんがやってきた 4時～ よる・あーち 4時～8時		
23	土	おもちゃ病院 1時～3時（ゆーす・あーち） おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
24	日	休 館		
25	月			
26	火		おひさまひろばあーち（午前中）	
27	水		おしゃべりほっとタイム 11時～	
28	木	筆をもとう 1時～2時30分		
29	金	よる・あーち 4時～8時		
30	土			

- ・**太字**は今月の特別プログラムです。プログラムは都合により変更することがあります。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。年齢制限はありません。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「ふらっと」は16時30分より整理整頓の時間とさせていただきます。



よる・あーちのプログラム

居場所づくり(こらぼ) 4時～ 学習支援(ふらっと、ゆーす) 5時～ 子ども食堂(ほっと) 6時～

【プログラム案内】

アートセラピー・・・自然素材や絵の具、粘土など様々な素材に触れながら、体全体で創作表現します。
 あらかると音楽あそび・・・手づくり紙芝居や絵本と一緒に音楽遊びを楽しみます。
 えいごであそぼう・・・英語を使った手遊びや歌、ダンスをして遊びます。
 おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
 おひさまひろば・・・灘区内公立保育所の保育士さんによる親子体操や手遊び、歌やお話など。
 おもちゃ病院・・・壊れたおもちゃを修理します。
 親子のびのび体操・・・手あそびや体操で親子のスキンシップをはかります
 おりがみ遊び・・・おりがみを折ったり、工作を楽しみながら、さまざまな人たちと交流をはかります。
 音楽の広場・・・参加型の演奏、おはなしなど、音楽を通してさまざまな人々が出会う場にしていきます。
 ビギナーズ交流会・・・生後6か月頃までの赤ちゃんとお母さんのための交流会です(予約制)。
 筆をもとう・・・書の初歩から学びます。気軽に楽しく書に親しみましょう。小学生以上～おとな対象。
 ベビーマッサージ・・・バスタオルと赤ちゃんの飲み物(お茶、母乳など)を持参してください。
 ほのぼの音ランド・・・音楽療法士による季節のうたや楽しいリズム遊び、楽器遊び。
 めだか親子クラブ・・・身近な材料で、ぶんぶんゴマや竹とんぼなどの楽しいおもちゃを作ります。
 よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラムです。
 らくがきおばさんがやってきた・・・何を描こう?何を作ろう?みんなで自由にアートを楽しみます。
 リフレッシュYOGA・・・肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心に、自宅でもできるYOGA。

<ふらっと相談員> ～お気軽にお声をかけてください～

火曜 午前 保育士
 水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会(第4水)
 木曜 午前 保健師(不定期)
 助産師(月2回)
 土曜 全日 助産師/保育士

あーちのルール

☆オムツやゴミはお持ち帰りください
 ☆託児はできません
 ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です
 ルールを守って楽しくすごしましょう!



「あーち」にあるたくさんの絵本の中から、スタッフのおススメをご紹介します。
 ぜひ手に取ってみてください。読んだ感想やお子さんの反応などもお寄せください。

「だっこだっこだーいすき」(0.1.2.えほん)

文：かみじょう ゆみこ
 絵：100%ORANGE (及川 賢治)
 出版社：福音館書店 2015年発行



抱っこがだいすきなおさるさんが、たくさんのおさるさんに抱っこしてもらって愛らしいおはなしです。
 はっきりした色使いや繰り返しを好む赤ちゃんにはおすすめの一冊です。

「うずらちゃんのかくれんぼ」

作：きもと ももこ
 出版社：福音館書店 1994年発行



うずらちゃんがおともだちのひよこちゃんとかくれんぼをするおはなしです。おはなやしげみの中に上手に隠れるうずらちゃんとひよこちゃん。上手にみつかることができるかな?草花が生い茂り雨の季節を迎えるこの時期にぴったりです。親子で楽しいかくれんぼの気分を味わってみてください。

(あーちスタッフ 小林真理子)



長女さん：背が伸びて、今まで「ちび」とからかってきていた男子を抜きました、小六
 まんなかくん：担任の先生がイケメンなことが自慢です、小三
 三番目：「今はそれを言うとき？」「何がごめんなさいか言って！」先生の口癖を真似します、六歳

前号では、まんなかくんの右耳が生まれつき小さく、片耳の難聴が判明したことを書きました。大きな病院に半年に一回通って様子を見ることになったのですが...

大きな病院は予約を入れても待ち時間が長く、やっと先生に会えても「様子を見ましょう。」を繰り返されるばかりでした。「両耳で聞けば大丈夫。心配いりません。」と笑顔で言われても、本当にそうだろうか？と心の中のモヤモヤは消えることはありません。何かしなければ、と県立の聴覚支援学校へ相談に行ったところ、そこでの聴力検査の数値が非常に悪く、「これは大変。家の近くの聴覚支援学校を紹介するからすぐ訓練を受けなさい。」と深刻な顔で言われました。やっぱり！不安は的中した、と言われた学校に検査を受けに行ったら「大丈夫ですよ。様子を見ましょう。」という見立て。片耳の難聴は仕方ないものらしく、補聴器の対象でもないし、聞こえやすい側からはっきりと話しかけるようにするしかないとのことでした。

耳掃除をしてもらおうと耳鼻科にも通いました。耳の穴が小さすぎて器具が入らず、「これ以上は取れません。」と帰される病院もありました。「大きな病院にかかっているのであれば心配ないですね。そこで取ってもらってください。」と言われることもありましたが、大きな病院でも器具が入らないので取ってくれません。いろいろ探した結果、先生がうまく取ってくれる病院が見つかりました。モニターを見ながら慎重に耳を掃除してくれる先生に本当に感謝しています。

幼稚園でマスクをかけると、右耳がうまくひっかからずゴムの調整が必要でした。お店で冗談で子ども用サングラスをかけた時、右耳の位置が低くてサングラスが大きく傾きおかしい感じになりました。かくれんぼをしたら、「もういいよ」の声がどこからしたのかわからず、反対の方向に走っていくことが毎回でした。そんな場面を見るたびに、心が締め付けられ、涙が出ました。

「まんなかくんの耳が小さいのは、ママのおなかに忘れてきたからやねん。」と説明したら、「まーええわ。」と言い続けたまんなかくん。生まれつきの聞こえの悪さなので、正常な状態と比較しようもなく、形もそれほど気にならないようでした。声が大きいのと、発音が甘いのは、聞こえの問題というよりは、発達の問題に起因しているところも大きいかもしれません。

今は病院巡りも、ネットでの情報収集も一通り終わって、信頼できる病院も見つかり、耳の件に関して心配は減りました。定期的な検査、通院に加えて、中耳炎になりそうな気配がしたらすぐ病院、学年が上がるたびに担任の先生に事情を伝える、大きい音がしているところでは聞きにくいから話さない、間違って聞き取った音を訂正する、母がすることはそれだけです。本人の成長もあって、「僕、聞こえにくいから大きい声でしゃべって」と言えるようにもなりました。電話をかける時は聞こえる方の耳に当てています。わざと聞こえないふりをすることもあり、耳のせいにして逃げることもあります。

検査に奔走した日々も、泣いたことも、すべて私たち親子の成長には必要だったのかもしれない。私は時間をかけて事実を受け入れていったような気がします。面倒くさいと思っていた通院も、帰りに何か食べたり本屋に寄ったり、まんなかくんとのデートのようになっています。耳のおかげでそんな時間を持てているような気さえしています。

草々